

子どもの発達と保育 授業

～手袋シアター製作～

R2.5. 15(金)

生活創造コース2年生は、5月15日(金)に子どもの発達と保育の授業で児童文化財の一つである手袋シアターを各自完成させました。手袋シアターとは、手袋を舞台にして繰り広げられる人形劇のことです。歌やお話にあわせて、人形やアイテムを動かし、子どもたちの興味をひきつけ、物語や歌の世界に引き込みます。一種の生活経験をするので、感受性や表現力を育みます。保育園実習で使用したいと考えています。



作品名 (上から時計回りの順)

- ①キャベツのなかから
- ②どんぐりころころ
- ③とんぼのめがね
- ④おべんとうのうた
- ⑤5つのメロンパン
- ⑥あわてんぼうのサンタクロース
- ⑦あめふりくまのこ
- ⑧どんな色がすき?
- ⑨まつぼっくり



＜生徒感想＞

手袋シアターを製作してみて、フェルトの細かいパーツを切ったり、縫い付けたりするのが難しかったです。少し手間がかかりましたが、可愛らしく完成させることができました。全員の作品を並べてみると、どれも良くできていて、保育園実習で披露できるのが楽しみになりました。